

令和7年度 1年 音楽科 年間指導計画・評価計画

1. 目指す生徒像

学年末の到達目標「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する」

『知識・技能』…曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技術を身に付ける。

『思考・判断・表現』…音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

『主体的に学習に取り組む態度』…主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2. 評価方法

観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントの記述内容 ・鑑賞文 ・実技テスト ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・授業の振り返りプリント ・定期考査の復習 ・授業内容確認プリント

3. 年間指導計画・評価規準

月	単元	時数	学習活動	①	②	③	評価規準（おおむね満足できる B）
4 5 6 7	思いを込めて合唱しよう。	3	校歌・合唱曲を教材とし、旋律の動きや強弱を参考にしながら、音楽の盛り上がりなどの表現の工夫をして歌唱する。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ・旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
	情景を思い浮かべながら、思いを込めて歌おう。	3	歌唱共通教材の楽曲の歌詞や旋律に着目し、情感を感じ取りながら、表現を工夫して歌唱する。	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容と関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現している。
	曲の形式を捉えながら鑑賞しよう。	3	各部分の曲想とソネットとの対応について知り、曲想と音楽の行動との関わりについて考えながら鑑賞する。	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
						○	<ul style="list-style-type: none"> ・音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ・旋律の雰囲気や歌い方の違いに関心を持ち、音楽

	タンギングや左手の運指を身につけよう。	4	リコーダーの基本的な奏法を身につけて、音色に親しみながら曲を演奏する。	○ ○ ○	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> 活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の授業に取り組もうとしている。 ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要なタンギングや左手の運指、息の出し方などの技能を身につけている。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫している。 ・リコーダーの音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。
9 10 11 12	日本の伝統音楽の特徴を考える。	5	日本の伝統的な楽器の演奏方法を知り、和楽器特有の音色を味わう。また、実際に演奏することで日本の伝統音楽の特徴やよさについて考える。	○ ○	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 ・音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 ・楽器の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	曲の構成や曲想の変化を生かして合唱しよう。	5	・生徒がそれまでに身に付けた知識や技能を総合的に生かしながら合唱する。	○ ○ ○	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 ・速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って鑑賞しよう。	3	詩の内容に沿って音楽的要素が変化していくことを知り、曲想と音楽の構造との関わりを理解して鑑賞する。	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・音色、旋律、テクスチャ、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ・曲想と音楽の構造と関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	日本に古くから伝わる和楽器の音楽に触れよう。	3	和楽器の基本的な奏法を理解した上で、日本の伝統的な音楽を聴き、楽曲のよさや美しさを味わって鑑賞する。	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、楽曲のよさや美しさを味わって聴いている。 ・和楽器の奏法による音色の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	情景を思い浮かべながら、思いを込めて歌おう。	2	歌唱共通教材の楽曲の歌詞や旋律に着目し、情感を感じ取りながら、表現を工夫	○ ○	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、

	曲想を感じ取って、表情豊かに演奏しよう。	2	楽曲の曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、器楽表現を創意工夫して行う。	○	○	○	<p>言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながらどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ・歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 ・創意工夫を生かした表現で楽曲を演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 ・旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 ・曲想を感じ取って奏法を工夫することに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
1 2 3	リズムアンサンブルを創作しよう。	5	音のつながり方の特徴を生かして、3声のリズムの創作表現の工夫を行う。	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせの技能を身に付け、創作で表している。 ・リズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように音楽を作るかについて思いや意図をもっている。 ・リズムの重なり方に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
	曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう。	3	楽曲の曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、器楽表現を創意工夫して行う。	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。
	パートの役割を感じ取って合唱しよう。	4	曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現の工夫をする。	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら、他者と合わせて演奏する技能を身に付け、歌唱で表している。 ・音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながらどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。